



秋水だより

No. 2

学校の臨時休業が5月末まで延長され、子供たちが学校に通えない状況が三カ月続いています。子供たちは毎日どのように過ごしているのでしょうか。心身の健康状態は健全か、規則正しい生活が送れているか、ゲームやSNS等への依存は大丈夫か、自宅での学習は順調か…心配の種は尽きません。保護者やご家族、地域の方も同様にご心配のことと思います。しかし、このような状況の中だからこそ、温かい時間に気付けることもあるのかなと感じています。

まず、子供の存在です。臨時休業中でも、時々、学校周辺で散歩やサイクリングをしている子供の姿を見かけることができます。また、学校図書やタブレットの貸し出し等の機会に子供が来校してくることもあります。そんな時、教職員はいそいそと外に出て、子供に笑顔で声をかけています。教材の配付・回収で子供と会えた時のことを職員室で楽しそうに話す教職員もいます。電話連絡中の教職員の声はどことなく優しくおだやかです。子供の声のしない学校で、時折虚しさを感じてしまう中、学校も教職員も子供たちから元気や楽しさをたくさんもらっていることに気付けます。

そして、釜ヶ淵の皆様です。学校は、休業中の対応で様々なことを家庭や地域にお願いしています。家庭や地域へのお願いは普段もありますが今はそれ以上に増えています。教材等の配付・回収、各種貸し出し事業、各種調査等、頻繁に協力依頼をしています。地域への行事への参加は難しい状況が続いています。保護者・地域の皆様も難しい状況でお過ごしの中、学校の要望に応えるのは簡単ではありません。しかし保護者の皆様はいつも学校に協力的です。時折、来校される方々は、学校や子供たちことを心配し、教職員をねぎらう言葉をかけてくださいます。釜ヶ淵という地域の学校に対する深い愛情と温かさを感じて、うれしくなります。学校は地域に支えられています。本当にありがとうございます。

最後に、教職員です。三カ月に及ぶ臨時休業という現在の状況は、教職員の誰もが未経験です。しかし予測の難しい状況の中でも、本校の教職員は前向きです。子供たちの学びを止めないために、子供たちのつながりを切らないために、今までの経験を生かし、互いに知恵を出し合い、今何ができるのかを考えようとしています。自分の特技を生かし、子供が学校に戻ってきた時に備え、黙々と環境を整えている者もいます。一人一人が自分のできることを見付け取り組む教職員の姿は、本当に頼もしいです。先の見えない状況の中、学校は彼ら教職員にも支えられています。

こんな時だからこそ、人と人とのつながりが本当に大切なのだということに気付きます。人と人がつながることで、元気や勇気、やる気が湧いてくるのだと感じます。

子供・保護者・地域の皆様からエネルギーをもらい、学校は今できること、今為すべきことに誠心誠意取り組みます。釜ヶ淵みんなの力を結集し、互いのつながりを一層強め、ピンチをチャンスに変えていけたらうれしいなと思います。みんなで挑戦していきましょう。よろしくお願いします。

尾崎 斉

ONE TEAM

◇ 子供たちへのエール

4月中旬、教職員の発案で、学校の教職員からの応援メッセージを学校のホームページに掲載しました（教職員の顔のイラストや背景のデザインは、M先生のお手製です）。もうご覧になられましたか。子供たちが元気になったり、休業中の子供たちの時間が楽しくなったりするとうれしいです。ホームページの中段には「○ 児童のみなさんへのお知らせ」があります。

応援メッセージ以外にも、学校のホームページには、子供たちの臨時休業を支援する情報が載っています。ぜひ、ご活用ください。

応援メッセージ : <http://www.kamagafuchi-e.tym.ed.jp/wp-content/uploads/2020/04/200421-messezi.pdf>



◇ 何を利用したか分かりますか？

子供たちが家庭で取り組んだ学習を集めるための「課題回収ボックス」が玄関前に設置されました。校務助手のHさんの手作りです。Hさんは、学校の中を一回りして材料を調達、屋には、ほぼ完成させてくれました。楽しい案内板は養護教諭のN先生お手製です。案内板をボックスに取り付け、あっという間に回収ボックスができました。

さて、この回収ボックスは、校内に元々あったものを利用して作られています。それは何でしょう。また、それはどこにあったものでしょう。学校が再開したら確かめてみてください。

◇ 力仕事もお手のもの！

教職員で花壇の修理を行いました。花壇の土が流れ出すのを防ぐ丸太が一部破損していたからです。子供たちがいつ植物を植えてもよいように、今のうちに整備しておこうと作業してくれました。近隣から丸太を用意し、防腐剤を塗り、破損した部分を取り替えました。おかげで花壇が見違えました。学校は子供たちがいつ来てもよいように、準備を進めています。早く学校が再開してほしいと願っています。



修理した箇所はいくつかあります。かなりの出来なので、なかなか見つからないかもしれません。学校の近くに来たときに探してみるのはいかがでしょうか。